

令和 8 年度

学生募集要項



五所川原市
Goshogawara City



活力ある・明るく住みよい豊かなまち
みんな大好き ごしょがわら



五所川原市立高等看護学院

〒037-0045

青森県五所川原市字新町 58 番地 2

TEL 0173-34-2715

FAX 0173-23-5676

ホームページアドレス

<http://www.city.goshogawara.lg.jp/jouhou/sosiki/kangogakuin.html>

E-mail

gakuin@city.goshogawara.lg.jp

I. 令和8年度 募集要項

募集人員	40 名
修業年限	3 年（2 年課程夜間定時制）
受験資格	1. 高等学校を卒業（見込み）し、准看護師の資格を有する者（免許取得見込み者を含む）。 2. 准看護師の資格取得後、3 年以上看護業務に従事し、高等学校卒業程度の学力を有すると認められる者。
出願書類	受験資格 1 該当者 1. 入学願書（写真を貼付） 2. 准看護師の資格を有する者は准看護師免許証の写し 3. 准看護師養成所の卒業（見込み）証明書 4. 准看護師養成所の成績証明書 5. 高等学校または中等教育学校の卒業（見込み）証明書 6. 受験票（氏名を記入し写真を貼付） 7. 受験票返送用封筒（長形 3 号） （郵便番号、住所、氏名を記入し、110 円切手を貼付する） 受験資格 2 該当者 1. 入学願書（写真を貼付） 2. 准看護師免許証の写し 3. 准看護師養成所の卒業証明書 4. 准看護師養成所の成績証明書 5. 就業証明書 6. 高等学校卒業程度認定試験合格証の写し ※認定試験を受けていない者は本学院の入学資格認定が必要になります。 入学願書を提出する前に本学院へ相談してください。 7. 受験票（氏名を記入し写真を貼付） 8. 受験票返送用封筒（長形 3 号） （郵便番号、住所、氏名を記入し、110 円切手を貼付する） 注）入学願書と出願書類の氏名が異なる場合は、新旧氏名が記載された戸籍抄本（発行日より 6 か月以内のもの）を添付してください。
受験手数料	2,800 円（郵便定額小為替。未記入のもの。現金や切手は受け付けません。）
出願方法	出願書類と受験手数料を一括し、封筒の表に「入学願書在中」と朱書きして簡易書留で郵送または持参してください。
提出先	〒037-0045 青森県五所川原市字新町 58 番地 2 五所川原市立高等看護学院
受験票の交付	出願書類等が完備している者には、本人に郵送します。 試験 3 日前になっても届かない場合は、問い合わせしてください。

Ⅱ. 試験日程

	一般入試	一般入試（二次募集） （定員に満たない場合に実施）
試験日	令和8年1月9日(金)	令和8年2月17日(火)
受付期間	令和7年12月8日(月)～ 12月15日(月)（必着） ※持参する場合、 受付時間は平日の9:00～17:00	令和8年2月2日(月)～ 2月5日(木)（必着） ※持参する場合、 受付時間は平日の9:00～17:00
合格発表	令和8年1月23日(金) ホームページに合格者の受験番号を掲載 合格通知は、同日郵送	令和8年3月3日(火) ホームページに合格者の受験番号を掲載 合格通知は、同日郵送
選考方法	学科試験：人体のしくみと働き、看護全般、作文 面接試験	
試験会場	五所川原市立高等看護学院	
入学試験 成績の開示	入学を希望する受験者に限り、開示請求をした本人に対し合格発表から2週間、学科試験の得点を開示します	

出願上の注意事項

1. すべての書類は黒のインク（ボールペン可）を使用し、楷書で丁寧に記入してください。
2. 出願にあたっては、該当する受験資格により必要書類を確認すること。
3. 出願書類の「氏名」は、戸籍に使用されている文字を記入すること。
4. 学歴の学校名は略さず正式名称で記入すること。
5. 入学願書に記入した内容を訂正する場合は、間違った誤った部分に二重線を引き、その上に訂正印を押し、その上段または下段に正しい事項を記入すること。
6. 写真は、正面上半身・脱帽・無背景、願書提出6か月以内に撮影したもので、裏面に氏名を記入し「入学願書」と「受験票」に貼付すること。
7. 書類記入の不備および書類の不足があった場合は願書を受理できません。
8. 納入された受験手数料は、理由にかかわらず払い戻しできません。
9. 一度提出した出願書類等は、返却できません。

個人情報の取り扱いについて

「令和8年度学生募集要項」請求時および出願書類に記載された住所・氏名・生年月日等の情報については、受験票発送および本年度の当学院の入学選抜に係る資料としてのみ利用するものとします。また、情報の保管については情報漏洩等の事故が生じないように適正に管理します。

Ⅲ. 学院の概要

1. 教育理念・目的・目標

教育理念

生命の尊厳と人間愛を基盤とし、科学的思考力を持ち、時代の変化に対応できる看護の実践者の育成を目指す。

教育目的

豊かな人間性を養い、人間を理解するための基礎的知識と人々の健康の状態に応じた看護を実践する能力を養い、社会に貢献する人材を育成する。

教育目標

1. 生命や人々の尊厳を守り尊重することを通して、豊かな人間性を養う。
2. 人間を身体的・心理的・社会的・スピリチュアルに統合された存在として理解する能力を養う。
3. 対象の多様な価値観を認識し、専門職業人として人間関係を形成するコミュニケーション能力を養う。
4. 科学的思考に基づき、対象の健康状態や生活に応じた看護の実践に必要な臨床判断を行うための基礎的能力を養う。
5. 看護師としての責務を自覚し、対象の尊厳と権利を守り、倫理観に基づいた看護を実践できる基礎的能力を養う。
6. 保健・医療・福祉制度と他職種の役割の理解に基づき、多職種と連携しながら多様な場で生活する人々への看護を実践する基礎的能力を養う。
7. 社会のニーズや変化、医療の動向に関心を持ち、広い視野で看護を学び続ける姿勢を養う。

アドミッションポリシー（入学者に求める人物像）

1. 看護師になりたいという強い意志を持ち、自ら看護について考え学び続けることができる人
2. 自らの健康の保持増進に努め、対象者の健康のために柔軟に思考し実践しようとする人
3. 自ら他者とのコミュニケーションを図り、目的を達成するために他者と協力・協調しようと努力する人

2. 授業時間 1,2年生 17:00～20:15（月曜日から金曜日）

3年生 8:30～16:15（月曜日から金曜日） 臨地実習 4月～12月

3. 主な実習施設

つがる西北五広域連合つがる総合病院、つがる西北五広域連合かなぎ病院、
青森県立中央病院総合周産期母子医療センター、五所川原こども園、訪問看護ステーション、
地域活動支援センター、五所川原市地域包括支援センター、高齢者福祉施設
放課後等デイサービス・児童発達支援

4. 在学中の諸経費

- 1) 入学金：6,500 円
- 2) 授業料：月額 7,800 円
- 3) 教材費：月額 1,000 円
- 4) 教科書代：約 170,000 円（3 年間）
- 5) その他の経費：(1) 実習関係 ユニフォーム、交通費、クリーニング代など 約 50,000 円
(2) 国家試験関係 模擬試験、国家試験受験手数料など 約 20,000 円
(3) 看護学校学生傷害保険 約 8,000 円（3 年間）

5. 卒業後の資格

- 1) 卒業により専門士の称号が与えられます。
- 2) 卒業により得られる資格
 - (1) 看護師国家試験の受験資格
 - (2) 保健師並びに助産師養成課程への受験資格
 - (3) 大学への編入資格

6. 卒業後の進路状況（令和 7 年 3 月卒業生実績）

つがる西北五広域連合つがる総合病院、つがる西北五広域連合かなぎ病院、
つがる西北五広域連合鰯ヶ沢病院、国立病院機構青森病院、弘前脳卒中リハビリセンター、
弘前記念病院、池上総合病院(東京)

7. 交通機関の学割制度

J R を 100 km 以上利用するときに学割証の交付を受けることができます。

8. 奨学金および修学資金

在学中の申請により各制度が利用できますが、利用条件・募集人員等に制限があります。希望者が多い場合は選考の上決定となります。

- 1) 日本学生支援機構奨学資金制度
- 2) 青森県看護師等修学資金制度

9. その他

- 1) 学院では、学生用の駐車場はありません。各自で契約駐車場を確保してください。
- 2) 学校行事や授業の一環で五所川原立佞武多や市のイベント、西北地域のイベントに参加します。
- 3) パソコンまたはタブレットを用いた授業がありますので、各自で準備をお願いします。

IV.教育課程

教育分野	教育内容	科目名	単位数	時間数	
基礎分野	科学的思考の基盤	情報科学	1	30	
		心理学	1	30	
		哲学と倫理	1	30	
		文学	1	30	
	人間と生活、社会の理解	医療英語と英会話	1	30	
		教育学	1	30	
		社会学	1	30	
		文化人類学	1	15	
		人間関係論	1	30	
専門基礎分野	人体の構造と機能	看護のための生理学	1	15	
		臨床検査と画像診断	1	15	
		栄養と代謝	1	20	
		微生物学	1	20	
	疾病の成り立ちと回復の促進	解剖生理病態学Ⅰ（消化器・血液造血器系）	1	30	
		解剖生理病態学Ⅱ（呼吸器・循環器系）	1	30	
		解剖生理病態学Ⅲ（脳神経・内分泌系）	1	30	
		解剖生理病態学Ⅳ（骨関節・感覚器系）	1	30	
		解剖生理病態学Ⅴ（生殖器・泌尿器系）	1	30	
		臨床外科学	1	15	
		リハビリテーション論	1	20	
		薬理学	1	20	
		病理学	1	20	
	健康支援と社会保障制度	保健医療論	1	15	
		公衆衛生学	1	15	
		社会保障と社会福祉	1	20	
		看護関係法規	1	15	
	専門分野	基礎看護学	基礎看護学概論	1	30
			看護に共通する技術	1	15
			呼吸・循環を整える看護技術	1	30
清潔・衣生活を整える看護技術			1	30	
栄養・排泄を整える看護技術			1	30	
活動・休息を整える看護技術			1	30	
臨床看護技術			1	30	
地域・在宅看護論		地域と暮らし	1	30	
		地域における健康支援	1	15	
		地域・在宅看護論概論	1	30	
		在宅看護技術	1	15	
		在宅看護の展開	1	15	
成人看護学		成人看護学概論	1	30	
		成人看護学方法論	1	15	
		成人看護学援助論Ⅰ	1	30	
		成人看護学援助論Ⅱ	1	30	
老年看護学		老年看護学概論	1	30	
		老年看護学方法論	1	15	
		老年看護学援助論	1	30	
小児看護学		小児看護学概論	1	30	
		小児看護学方法論	1	15	
		小児看護学援助論	1	30	
母性看護学		母性看護学概論	1	30	
		母性看護学方法論	1	15	
		母性看護学援助論	1	30	
精神看護学		精神看護学概論	1	30	
		精神看護学方法論	1	15	
		精神看護学援助論	1	30	
看護の統合と実践		看護マネジメント	1	15	
		災害看護	1	30	
		医療安全	1	15	
		看護過程演習	1	15	
		看護における研究	1	30	
臨地実習		基礎看護学実習	2	90	
		地域・在宅看護論実習	2	90	
		成人・老年看護学実習	4	180	
	小児看護学実習	2	90		
	母性看護学実習	2	90		
	精神看護学実習	2	90		
	統合実習	2	90		
	合計単位数	75			

V. 沿革

昭和 40 年 8 月	県より学院開設についての要請
昭和 41 年 2 月	厚生省より 2 年課程夜間定時制として開設認可
昭和 41 年 3 月	五所川原市立高等看護学院開設認可
昭和 41 年 4 月 25 日	開校
平成 19 年 4 月 1 日	布屋町から新町へ移転
平成 27 年 10 月 12 日	創立 50 周年記念式典挙行
令和 2 年 1 月 8 日	公立専修学校設置認可
令和 2 年 4 月 1 日	公立専修学校へ移行



JR 五能線五所川原駅下車徒歩7分
 弘南バス 五所川原駅前停留所下車徒歩7分
 弘南バス 五所川原方面行き「新町」バス停留所下車 向かい